

年齢を言い訳にしない生き方

世界最高齢のアプリ開発者として知られる若宮正子さんは、今もなおICTの活用を伝える活動を続けています。

銀行員として長年働いた後、定年を迎えた若宮さんは「これからは自分の興味を大切にしよう」と考えました。もともと新しいものに惹かれる性格だった彼女は、五十代後半で初めてパソコンを手にし、通信の世界に夢中になります。

学びは独力で進め、表計算ソフトを使った作品づくりに挑戦し、八十年代に入ってから高齢者向けのゲームを世に送り出しました。その姿は多くの人に驚きと勇気を与えています。

若宮さんは、時代は大きく変わり続けており、これまで通用していた考え方に固執しては前に進めないと語ります。経験を重ねたからこそ、新しいことに一歩踏み出す価値を知っているのです。

今日始めた小さな挑戦が、未来を形づくる。年齢ではなく、姿勢が人生を決めることを、若宮さんはその生き方で示しています。

今日の言霊 いつからでも新しい挑戦を

社会の変化が激しい今、子どもたちはこれまでにない速さで新しい世界と出会っています。だからこそ、大人の姿勢が子どもの安心感や挑戦する気持ちに大きく影響します。

若宮正子さんの歩みは、年齢や過去にとらわれず、新しいことへ向き合う大切さを私たちに教えてくれます。



初めてのことに挑むとき、不安を感じるのは自然なことです。大人でさえそうなのですから、子どもならなおさらでしょう。それでも一歩踏み出すことで、学びや経験は確実に増えていきます。結果よりも、「やってみよう」と背中を押してもらえた記憶が、子どもの自信になります。

家庭で交わされる何気ない言葉や、大人が挑戦する背中こそが、子どもにとって最良の学びとなります。

【今回の学び】⇒行動して初めて、可能性と学びが身に付いてくる！